

中学校
校内研修

今なぜ、道徳か（科）？

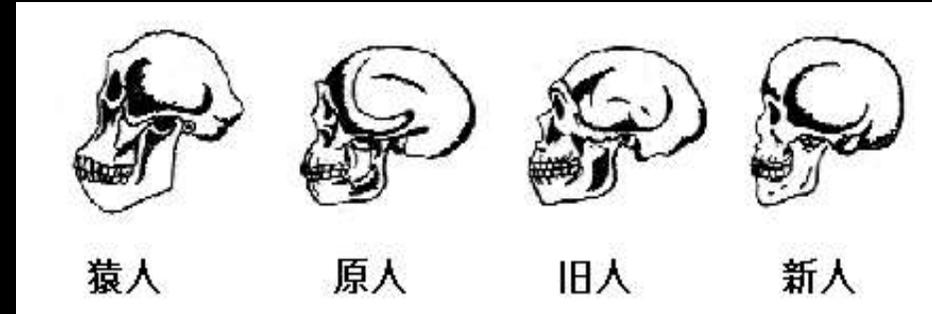
大分県教育庁別府教育事務所

地球の誕生

45億年ないし46億年前



人類の進化



猿人	：アウストラロピテクス	400万年前
原人	：ホモエレクトス	160万年前
旧人	：ホモサピエンス	30万年前
新人	：	1～2万年前

地球誕生から46億年の歴史を1年の365日のカレンダーで表して見ると・・・

- 1月1日 原始地球が誕生
- 1月12日 原始地球が地球と月に分かれる
- 2月9日 地殻が固まり、陸と海ができる
- 2月17日 海中でタンパク質や核酸ができる
- 2月25日 細胞や細菌などの原始生命体誕生
- 5月31日 光合成ができるバクテリアが生まれ酸素の放出を始める
- 8月3日 今の世界の基盤となる1つの超大陸が誕生する
- 10月29日 超大陸が分裂し始める
- 11月14日 温暖な気候が続き、オゾン層が形成される
- 11月20日 魚類が誕生する
- 11月28日 植物や昆虫、両生類が陸に上がる
- 12月13日 恐竜、爬虫類が誕生する

- 12月19日 鳥類が誕生する
- 12月26日 午後8時17分 巨大隕石が激突して恐竜が絶滅 哺乳類が繁栄し始める
- 12月31日 午前10時40分 人類のルーツとなる猿人が誕生（700万年前）
- 12月31日 午後3時39分 猿人が直立二足歩行を開始する（440万年前）
- 12月31日 午後7時15分 猿人が石器を使い始める（250万年前）
- 12月31日 午後8時35分 猿人が火を使い始める（180万年前）
- 12月31日 午後11時58分52秒 猿人が進化した現生人類が農耕牧畜を始める（1万年前）
- 12月31日 午後11時59分46秒 西暦が始まる

12月31日 午後11時59分59秒
20世紀が始まり、終わる

1960年代以降の「教師等」を描いたドラマから

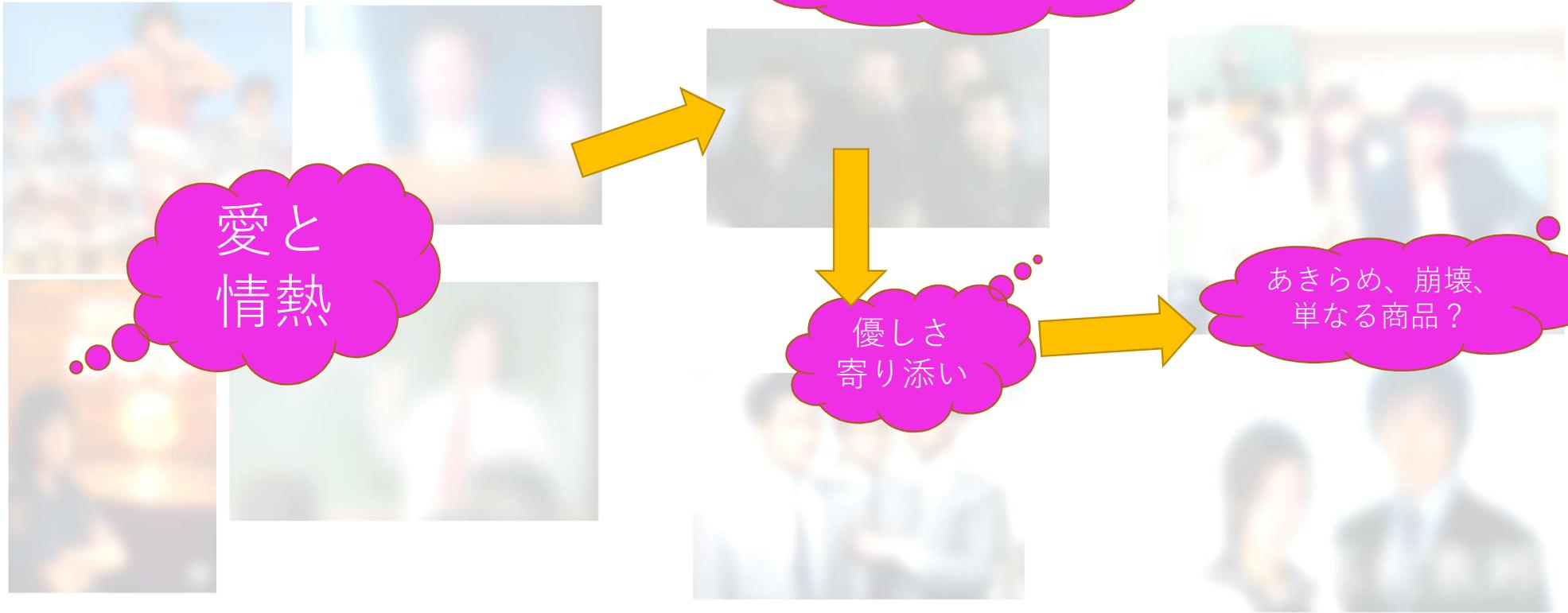
理想の？

「力」と「力」

愛と
情熱

優しさ
寄り添い

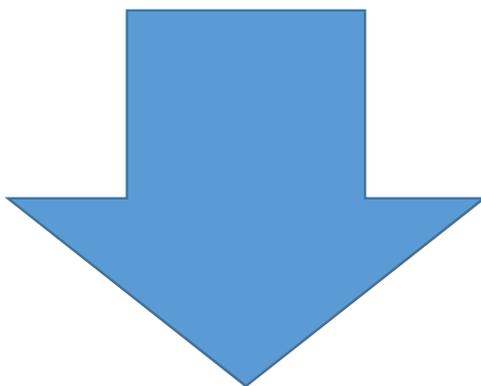
あきらめ、崩壊、
単なる商品？



かつて中学校はいかにして語られたか？（例）

- 校内暴力のピークは1980年頃
- 教師は、日々生起する「事件」の処理に負われ、ありとあらゆる方策が試みられた？（一過性の“修繕”）
- 例えば、体罰（＝違法）、警察力の導入、つく指導（＝抱え込み指導）
家庭訪問指導（＝決して悪いことではないが）など
※膨大な教師の労力が必要（スーパーティーチャーへ依存傾向）
⇒一時しのぎの緊急措置、永続的には不可能
- 「攻めの生徒指導」＝「管理主義」へ
尺度＝校則 ⇒違反者は「排除」の考え方
外発的動機付け？ 脅し？（「こんなんじゃ進学できないよ」）

ここ最近、学校を取り巻く社会と教育環境の変容には、約50年（半世紀）を要している



児童・生徒がこれから生きていく社会はどうなるのでしょうか？

今はSociety 4.0！！からの・・・

新たな社会
“Society 5.0”

5.0



Society 1.0 狩猟

1.0



2.0



Society 2.0 農耕

Society 3.0 工業

3.0



4.0

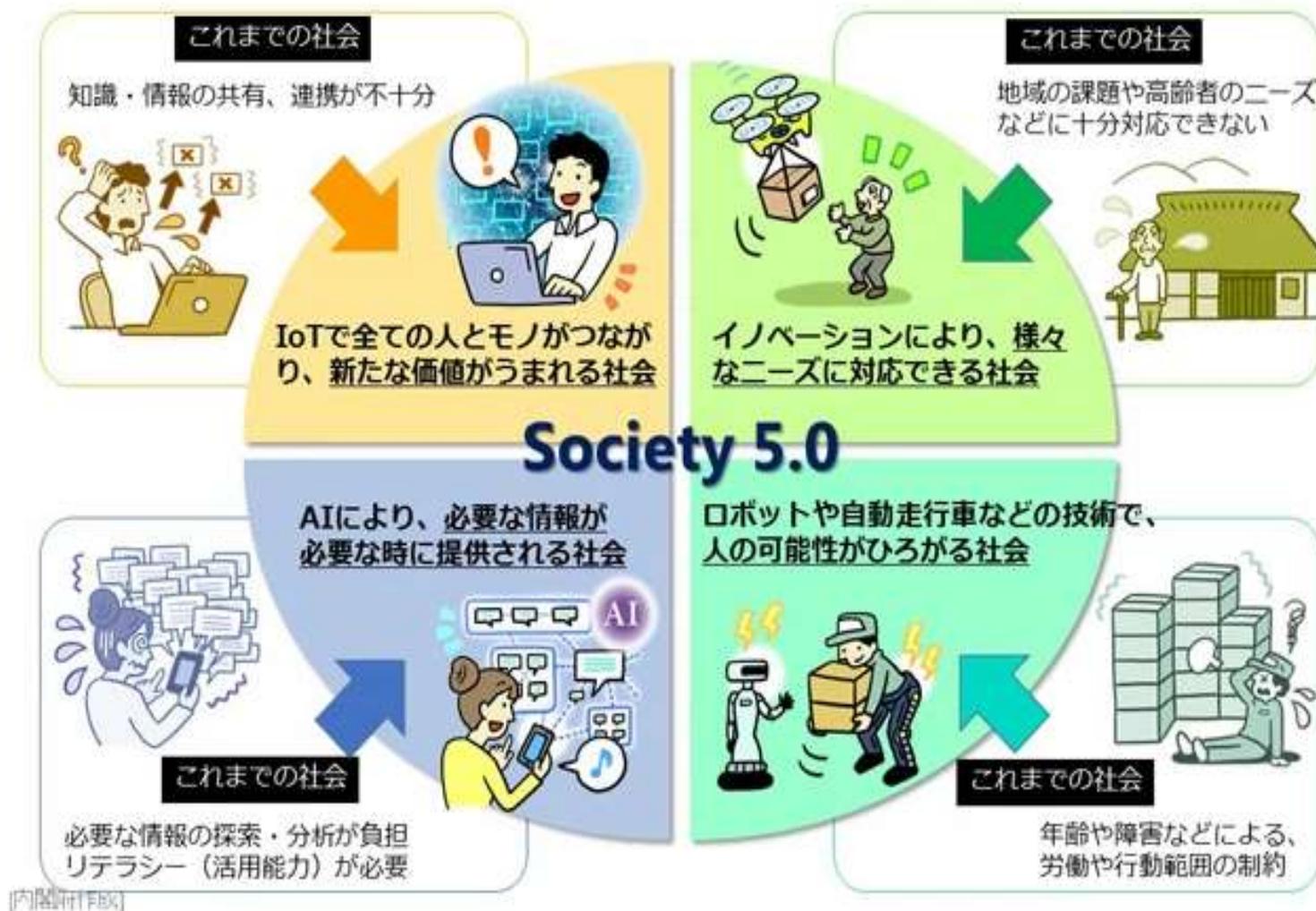
Society 4.0 情報



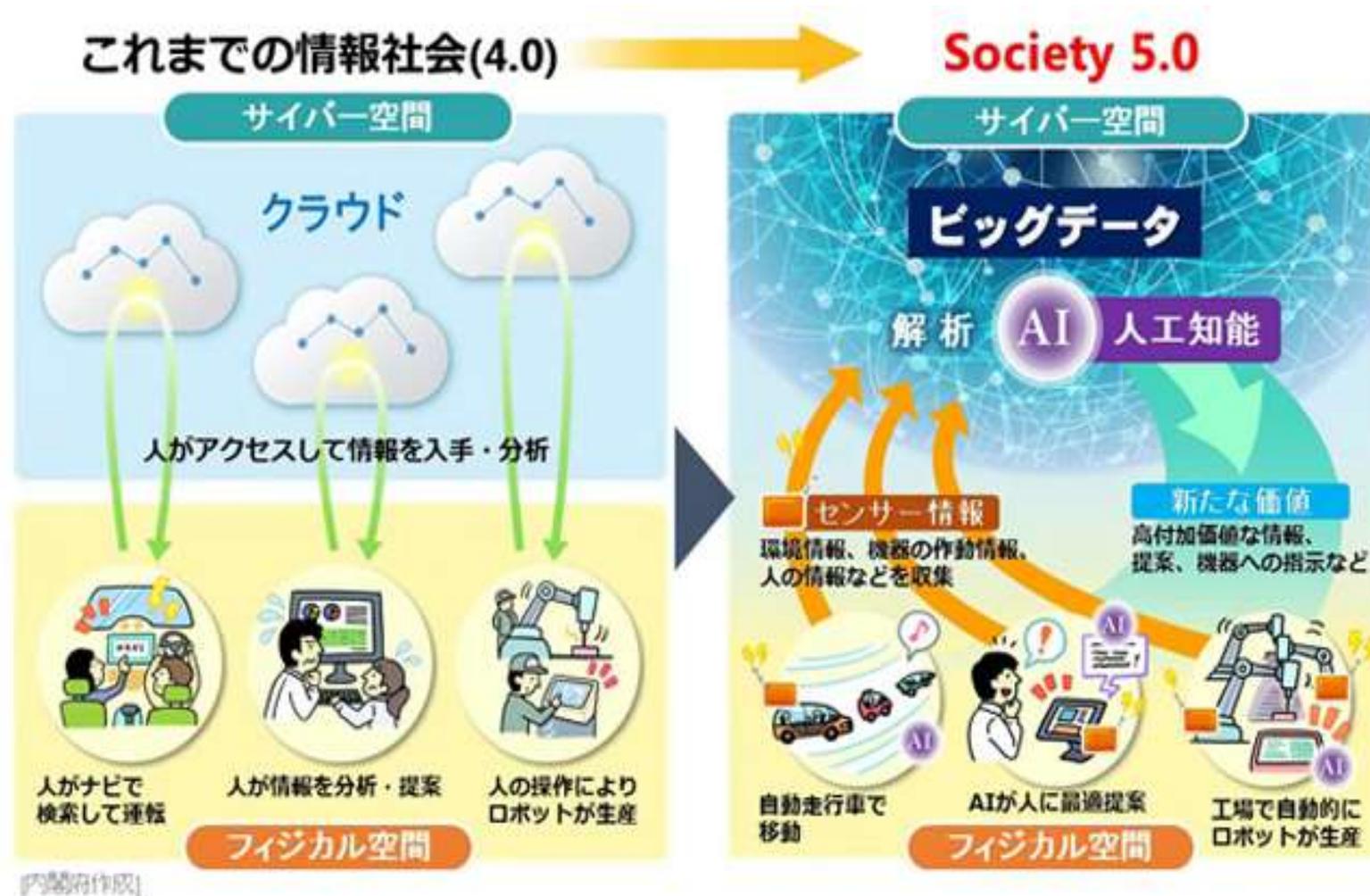
〔内閣府作成〕

狩猟社会を「バージョン1.0」とし、
農耕社会（同2.0）、
工業社会（同3.0）、
情報社会（同4.0）
に続く、次の社会

Society 5.0 てなに？



何が変わるのか？
どれくらいのスピードなのか？



こんな社会が待っている、ではなく創造する



経済発展

- エネルギーの需要増加
- 食料の需要増加
- 寿命延伸、高齢化
- 国際的な競争の激化
- 富の集中や地域間の不平等

社会的課題の解決

- 温室効果ガス（GHG）排出削減
- 食料の増産やロスの削減
- 社会コストの抑制
- 持続可能な産業化
- 富の再配分や地域間の格差是正

IoT、ロボット、AI等の先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、
格差なく、多様なニーズにきめ細かく対応したモノやサービスを提供

「Society 5.0」へ

経済発展と社会的課題の解決を両立

国連の「持続可能な開発目標」
(Sustainable Development Goals :
Goals :

SDGs

の達成へ

一人一人の人間が中心となる社会

こんな社会で生きる子ども
の背景にあるもの

多様性(ダイバーシティー)

イノベーション

価値観

摩擦・軋轢

ステイタス

労働人口減少

スキル、専門性

人種差別、
部落差別

インバウンド

表面的⇔内面的

性別、男女差別

絶対解⇔納得解

同調圧力

同調圧力とは

- 黒いスーツにワイシャツ、白いブラウス。女子の髪は黒く、髪型も同じ。個性の時代、創造性が大事と言われながら、なぜか変わらない就活の風景。企業がルールを決めているわけではないのに、様々な個性を捨てて周囲に同化する。

異質なもの（みんなと違う！）
を受け付けられない⇒違和感
⇒恐怖？ ⇒攻撃！

学習指導要領 総則（中学校） P.24~

(2) 豊かな心

① 豊かな心や創造性の涵養

(2) 道徳教育や体験活動，多様な表現や鑑賞の活動等を通して，豊かな心や創造性の涵養を目指した教育の充実に努めること。

② 道徳教育の展開と道徳科（第1章第1の2の(2)の2段目）

学校における道徳教育は、**特別の教科である道徳（以下「道徳科」という。）を要として学校の教育活動全体を通じて行うもの**であり、道徳科はもとより、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて、児童の発達段階を考慮して、適切な指導を行うこと。

- 道徳教育は人格形成の根幹に関わるもの
 - 民主的な国家・社会の持続的発展を根底で支えるもの
- （抜粋）

学習指導要領解説によると・・・

【小学校】

環境，貧困，人権，平和，開発など

【中学校】

生命や人権，自己決定，自然環境の保全，
公正・公平，社会正義など

③ 道徳教育の目標

(第1章第1の2の(2)の3段目)

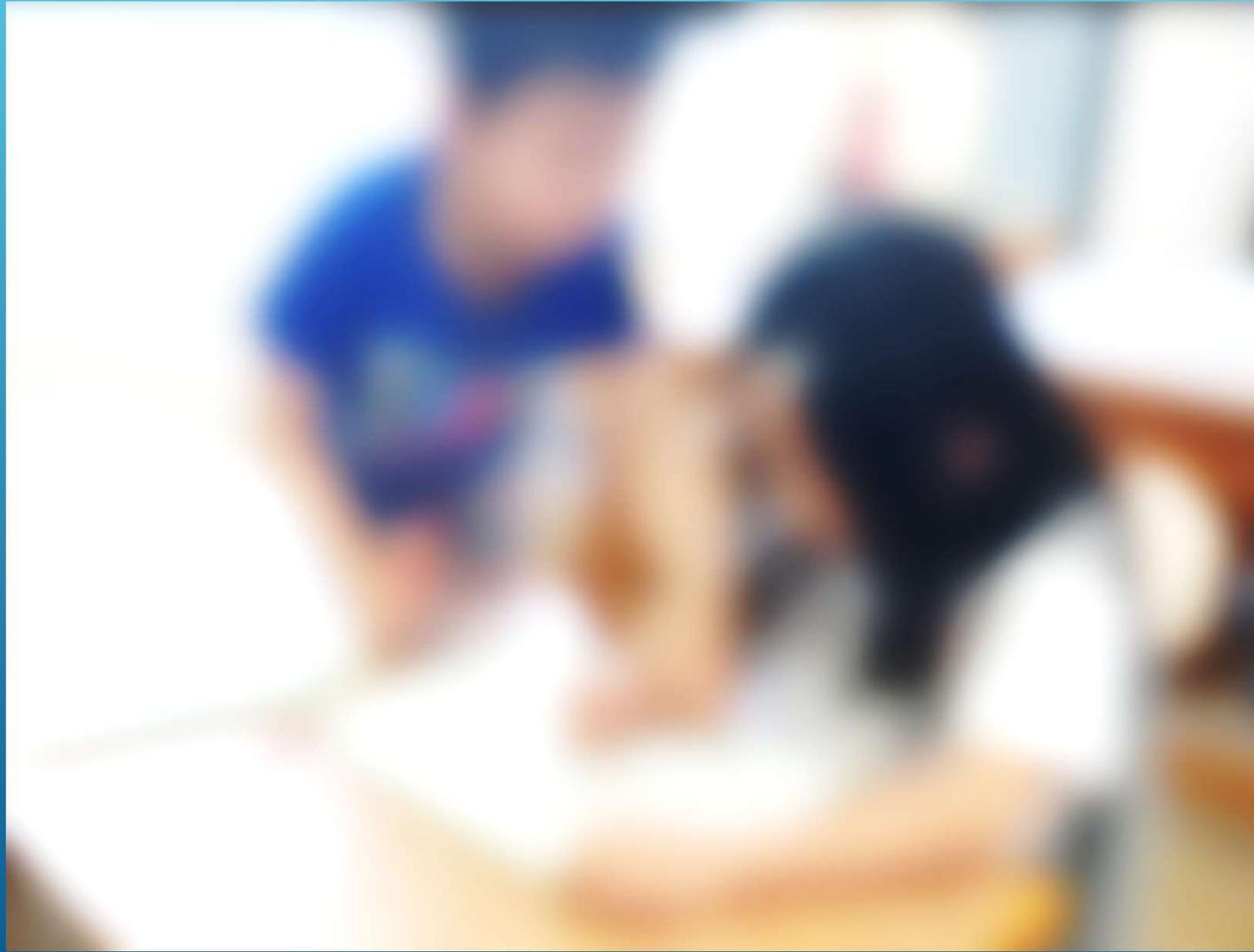
- 道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とすること。

P28より抜粋

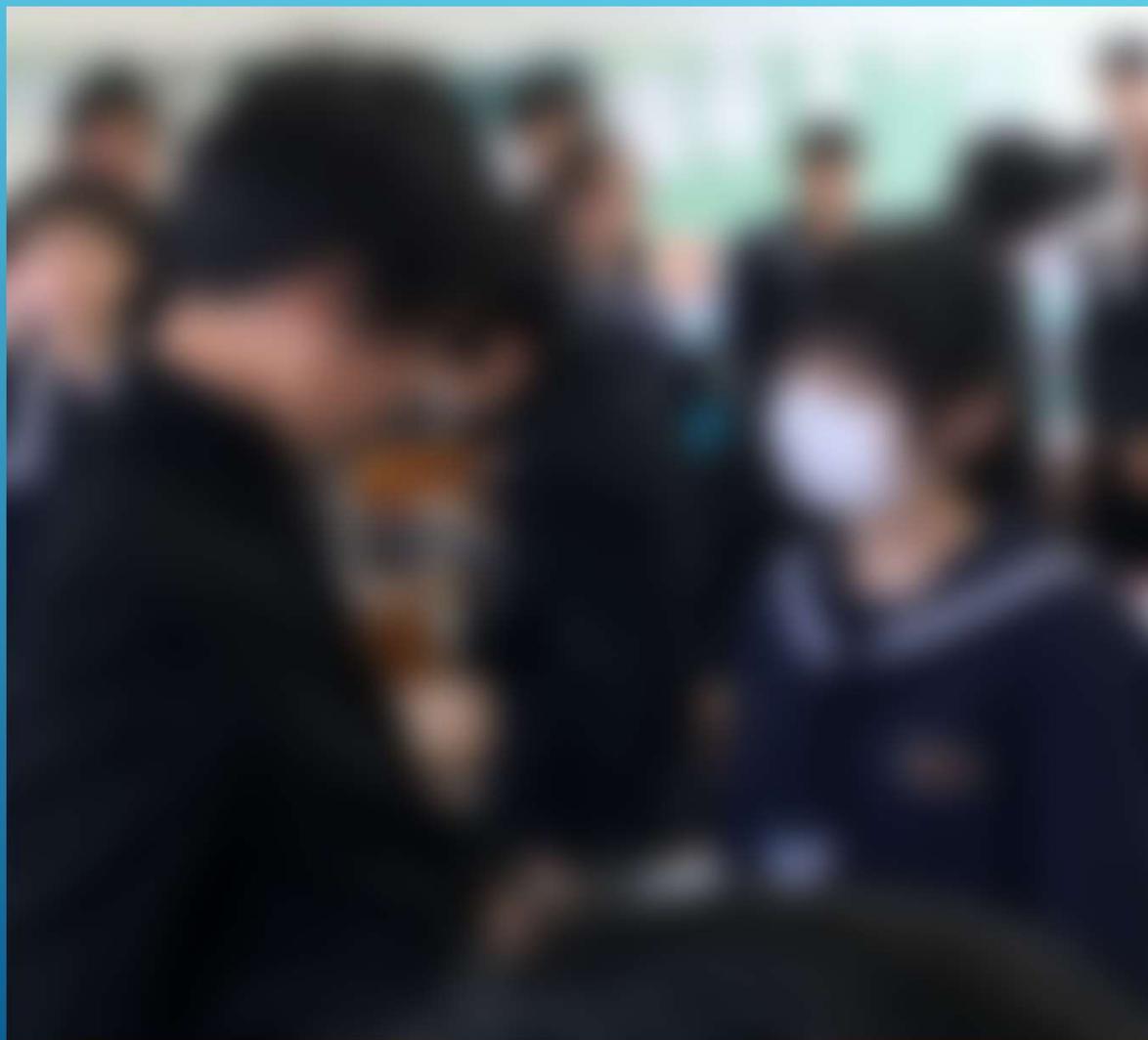
- オ そのための基盤となる道徳性を養う

こうした思考や判断，行動などを通して**よりよく生きるための営みを支える基盤となるのが道徳性**であり，道徳教育はこの道徳性を養うことを目標とする。道徳性は，人間としての本来的な在り方やよりよい生き方を目指して行われる道徳的行為を可能にする**人格的特性であり，人格の基盤をなすもの**である。それはまた，人間らしいよさであり，道徳的価値が一人一人の内面において統合されたものと言える。

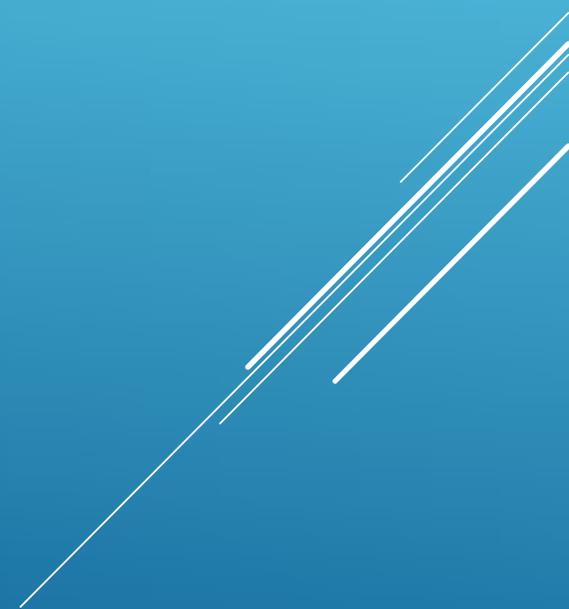
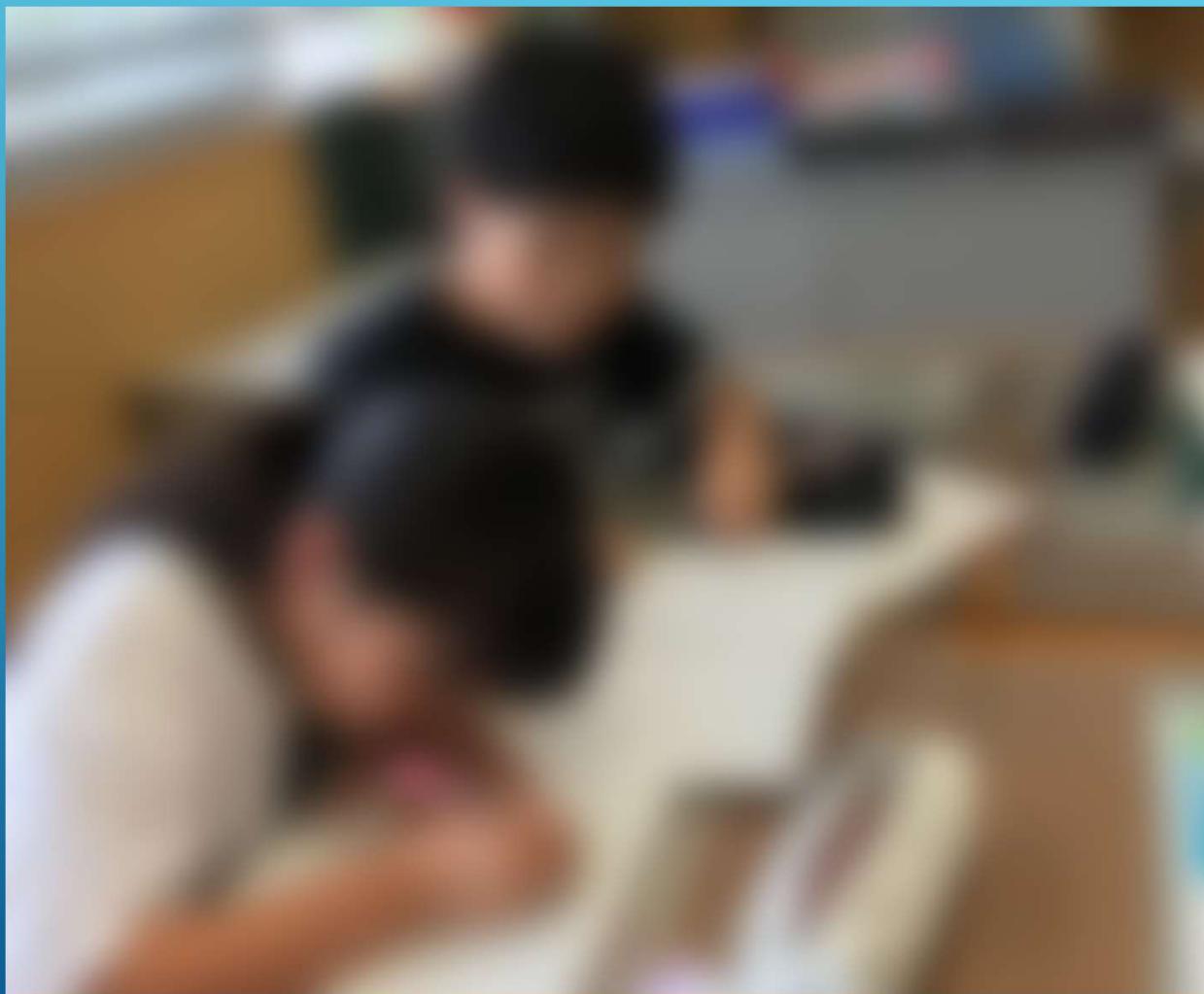
自分も友だちも大切にしている子ども



自分の考えを持ち、友だちの話をよく聴き、
協働して学ぶ子ども



お互いの違いを認め、支え合って課題を解決できる子ども



学ぶことの楽しさを知り、主体的に学習に取り組む子ども

